

駅前広場のトイレ周辺で、一部ポイ捨てが見受けられる。清掃委託業務の中で吸殻についても対応しており、また、啓発看板を設置して喫煙マナーの協力をお願いしている。

問 駅前広場に喫煙所を設けることはできないか。

答 駅前広場は多くの方が利用する施設であり、他の利用者への影響を及ぼさない設置場所の確保が難しい。また、管理者が常駐しておらず吸殻の片付け等の管理上の問題から、喫煙所の設置や寄附受け取りは難しいと考えている。

国道247号中央バイパスについて

問 王子中村線との交差点は歩道橋設置ではなく横断歩道にしてはどうかという意見について、どう考えるか。

答 施工者の愛知県と県警が協議し、横断歩道では距離が長く、老人や子ども等では信号制御時間内での横断が困難であるため、安全確保の観点から歩道橋



王子中村線との交差点付近の様子

問 設置が決定されている。全線開通はいつごろになるのか。

答 昨年度末までの残事業費は約17億円、今年度の予算は約4億円であるが、今後も予算を確保し、早期全線開通を図りたいと県は考えている。市も県と協力して早期全線開通を図る。

稲吉郭哲（自由クラブ）

市とシルバー人材センターの関係について

問 本市のシルバー人材センターへの補助金の内

容と実績は。

答 人件費、管理運営費、その他市長が必要と認める費用を補助対象経費とし、その2分の1を基準として補助金を交付するが、近年は1050万円の交付にとどまっている。

問 今後の課題とその対応について伺う。

答 市からはシルバー人材センターに会員への接遇研修実施をお願いし、市民への利用案内、会員拡大のPRを定期的に実施する。また、料金体制のあり方についても意見の申し入れを考えている。

ごみ屋敷対策は

問 これまでの取り組みと現状は。

答 土地所有者と接触している4件は直接指導及び指導文書を送付した。うち2件で道路上に堆積物はみ出していたが、5月25日までに所有者が片付けを終えた。残りの1件は土地所有者が死亡しており、相続人及び共有名義人に対し



問 て注意文書を送付した。条例制定に向けての調査・研究の状況は。

答 原因者を周囲の住民と円滑な社会生活が送れる状況に戻すことが最終的な解決であり、支援によって自身の常習性を改善させることを視野に入れた条例が有効であると考える。また、公費投入への批判もあるので、公平性の確保もできるような研究を進めている。

鎌田篤司（自由クラブ）

蒲郡市の漁業振興策は

問 昨年度の主要施策として行った新規漁業就業支援事業の現在と今後は。

答 全国から27名応募があり、3名を決定し研修を開始した。2名リタイアしたが、1名が継続している。今後は新卒者の応募にもあわせ研修開始を4月頃に変更等の工夫をしたい。

問 アカエイ等の未利用魚の利用の考えは。

答 三谷水産高校で研究されていると聞いている。有効利用の研究等に対する支援制度を検討したい。

問 これからの漁業振興をどう考えているのか。

答 本市は、「三河湾に輝く人と自然が共生するまち蒲郡」を目指して、その実現に漁業振興は欠くことができないと考えている。

観光・教育の目玉の施設、竹島水族館について

問 水族館は現在地で、約50年が経つが今後の耐震やリニューアルの考えは。

答 耐震工事と一緒に館内の改装工事も考えたい。また、竹島パルクの土地は